

# にしっこ 西っ子のみなさんへ 75

2月10日

あす 明日、2月11日は「<sup>けんこくきねん</sup>建国記念の日」です。「<sup>くに</sup>建国をしのび、<sup>くに</sup>国を愛する<sup>こころ</sup>心を養う日」<sup>やしな</sup>です。この日に、日本という国ができたわけではないので、そこはまちがえないようにしましょう。

ゆらい 「<sup>にほんしよき</sup>『日本書紀』<sup>もと</sup>に基づく<sup>しよだいてんのう</sup>初代天皇・<sup>じんむてんのう</sup>神武天皇が即位した日です。今の<sup>いま</sup>暦、<sup>こよみ</sup>太陽暦に<sup>たいようれき</sup>換算すると、<sup>きげんぜん</sup>紀元前660年2月11日にあたるため、<sup>めいじせいふ</sup>明治政府がこの日を「<sup>きげん</sup>紀元」(建国の日)として祝日にしたことによります。(戦後、「<sup>きげんせつ</sup>紀元節」は廃止されました。)

ところで、「<sup>けんこくきねん</sup>建国記念日」ではなく、「<sup>けんこくきねん</sup>建国記念の日」なのは、<sup>てんのうたんじょう</sup>今月23日が「<sup>てんのうたんじょう</sup>天皇誕生日」であって、「<sup>てんのうたんじょう</sup>天皇誕生日」でないことと<sup>かんけい</sup>関係しています。祝日には、「の」が入る祝日と入らない祝日があります。その違いは、<sup>ちが</sup>確定日か、<sup>ちが</sup>取り決め日ないかの違いです。

「<sup>うみ</sup>海の日」「<sup>やま</sup>山の日」「<sup>こども</sup>こどもの日」は、その日でなくてもよく、別の日を指定してもよいのですが、「<sup>けんぽうきねん</sup>憲法記念日」は、現在の<sup>しこう</sup>日本国憲法が施行された記念日ですので、5月3日でないだとダメですし、「<sup>てんのうたんじょう</sup>天皇誕生日」も、現在の<sup>げんざい</sup>天皇陛下の誕生日が2月23日だから、この日でないだとダメです。このような場合の祝日は「の」が入りません。「の」が入らない祝日は、あとは「<sup>げんじつ</sup>元日」の3つの祝日だけです。

ところで、我が国が「<sup>にほん</sup>日本」となったのはいつからなのでしょう。歴史を勉強していると昔は「<sup>わ</sup>倭」という名前が使われていたことがわかります。日本の古い書物「<sup>ふる</sup>古事記」と先出の「<sup>にほんしよき</sup>日本書紀」は、<sup>どうじき</sup>ほぼ同時期につくられたものですが、「<sup>ふる</sup>古事記」には「<sup>わ</sup>倭」、<sup>にほん</sup>「日本書紀」には「<sup>にほん</sup>日本」と<sup>しる</sup>記されています。中国の書物から読み解くと、<sup>せいれき</sup>西暦702年の<sup>けんとうし</sup>遣唐使から「<sup>にほん</sup>日本」が使われるようになったみたいです。ただし我が国での読み方は「<sup>やまと</sup>ヤマト」です。「<sup>にっぽん</sup>ニッポン」は<sup>ごおん</sup>呉音で、今の<sup>ちゅうごくなんきんし</sup>中国南京市あたりで使われていた古い読み方になります。

もう1つ問題があります。「<sup>にほん</sup>日本」は「<sup>にっぽん</sup>ニッポン」なのか「<sup>にほん</sup>ニホン」なのかです。

話言葉としての「<sup>にほん</sup>日本」または「<sup>にほん</sup>日本〇〇」は、<sup>あつとうてき</sup>圧倒的に「<sup>にほん</sup>ニホン」と<sup>はつおん</sup>発音することが多いですが、<sup>せいせんしゅけん</sup>オリンピックや<sup>おうえん</sup>世界選手権で<sup>こえ</sup>応援する声を聴いていると、「<sup>にっぽん</sup>ニッポン <sup>ちゃ</sup>チャ・<sup>ちゃ</sup>チャ・<sup>ちゃ</sup>チャ」と<sup>はつおん</sup>発音しています。また、<sup>こんどあた</sup>今度<sup>きって</sup>新しくなる1円切手のように、<sup>しへい</sup>切手や紙幣にはどれも「<sup>nippon</sup>NIPPON」と<sup>か</sup>書かれているので、「<sup>にっぽん</sup>ニッポン」となります。



結論を言うと、「<sup>にっぽん</sup>どちらが正しい」ということではなく、「<sup>りょうほう</sup>両方の読み方がある」というのが<sup>こた</sup>答えとなります。

「<sup>にほん</sup>日本」については、1934年に<sup>もんぶしやう</sup>文部省の<sup>りんじこくごちやうさかい</sup>臨時国語調査会が「<sup>にっぽん</sup>ニッポン」にすると決議しましたが、<sup>せいふ</sup>政府の<sup>さいたく</sup>採択がなされないまま<sup>げんざい</sup>現在に至っています。何度か<sup>なんど</sup>話題となり、2009年の<sup>あそうたらうないかく</sup>麻生太郎内閣の時に、<sup>かくぎけつてい</sup>閣議決定でひとまず「<sup>にっぽん</sup>どちらでもいい」となりました。

ちなみにNHKは、<sup>こくめい</sup>国名としての「<sup>にほん</sup>日本」は、「<sup>にっぽん</sup>ニッポン」としているようです。